

滋賀県は近畿府県と共同で夏のエコスタイル運動をしています。エコスタイル運動とは、ネクタイと上着をなくして冷房を極力使わないようにすることです。ぼくは毎朝大阪から電車ですが、大津駅で降りる際、周りを見ていると多くの人がネクタイを締め、上着を着ています。大津駅で降りる人の中でも県庁方面に行かない人は、やっぱり上着ネクタイ着用で出勤している人が多くいます。つまり、県内の一般企業に勤めている人には、まだまだ浸透していないということでしょう。なぜなら、商売の習慣としてスーツとネクタイが制服となっている現状では、ネクタイと上着なしで仕事をする取引先に無礼と受け取られてしまい、商売がうまくいかなくなるからかもしれないのです。経済団体を通じた県庁からの協力依頼より商売のほうが大事ですから、当然といえば当然でしょう。

では、どうしたらエコスタイルを一般企業に実践してもらえるようになるのでしょうか。たとえば、省エネ条例のようなものをつくってはどうか。これなら、条例で決まっているからという理由で暑い最中に暑い格好をしなくてすむため、一般企業の人にも実践

してもらいやすいのではないのでしょうか。しかし条例をつくったとしても、現状としてアイドリングストップを呼びかける条例のように存在はしているものの、あまり浸透していないものもあります。つまり、県民すべてで行えるようにするには、まず、条例の知名度を上げる必要があります。その上でしっかり浸透させ、啓発していくことが欠かせないでしょう。

実は滋賀県には「地球温暖化防止活動推進センター」というものがあり、温暖化防止に向けて、啓発活動等を行っています。アイドリングストップやエコスタイルを実践してもらうことは、地球温暖化防止対策の一環でもあることから、啓発をして、実行してもらえるようにしなければならないのに、地球温暖化防止活動推進センターは一体何をしているのでしょうか。これは誰の仕事かと考えてみれば、ぼくの仕事でした…。もっと温暖化防止対策を実行してもらえるよう啓発活動に努めますので、皆様のご協力をお願いします。

財団のひとりとごと
h i t o r i g o t o

エコスタイルを浸透させよう



「ヨシ腐葉土」好評発売中！

当財団では、刈り取ったヨシを有効に活用するため、ヨシの腐葉土を職員の手作りで製造し、販売しています。

ヨシ腐葉土は、琵琶湖のヨシを原料として作ったもので、**通気性、透水性**が特に優れているため根張りが良くなり、根腐れの心配がありませんので、家庭菜園づくりにも好評です。

お問い合わせ、ご注文は当財団へお願いします。また、**滋賀県種苗生産販売協同組合加盟の種苗店**や**㈱アヤハディオの各店**でも販売していますので、一度お試し下さい。